

第 11 回(令和 4 年度第 1 回) 東京女子医科大学病院医療安全監査 議事要録

日 時 : 2022 (令和 4) 年 8 月 8 日 (月) 14 : 00~16 : 00

場 所 : Zoom (Host: 東京女子医科大学病院)

監査委員 : (敬称略)

委員長 遠山 信幸 (自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長) (A)

委 員 浜田 健一郎 (元 NHK 経営委員長、一般社団法人北前船交流拡大機構 理事長) (C)

委 員 本庄 八郎 (株式会社伊藤園 代表取締役会長) (C)

委 員 秋山 一弘 (秋法律事務所 弁護士、本学常任監事) (B)

委 員 中村 芳夫 (日本経済団体連合会顧問) (C)

A: 医療に係る安全管理に関する識見を有する者

B: 法律に関する識見を有する者

C: 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者

監査内容 :

1. 前回監査における指摘事項に関する改善点や変更点等について

- (1) インシデント報告について
- (2) IC 記録登録率およびアレルギー情報の入力状況について
- (3) 画像診断および病理診断報告書の未独立について
- (4) インフォームドコンセントについて

2. その他事項

- (1) 昨年度 (2021 年度) の総括
- (2) 今年度 (2022 年度) の目標、新たに予定している医療安全活動や取組み、特に重点目標
- (3) 患者参加型医療の実践状況

3. 前回以降に取り組まれた課題、その他 (病院でのアピール点、取組みなど)

- (1) IPSPG (国際患者安全目標) 推進部会の取組み
- (2) 転倒転落対応部会の取組み
- (3) 医薬品安全管理委員会の取組み
- (4) 医療機器安全管理委員会の取組み
- (5) 医療機器教育研修部会の取組み
- (6) 放射線安全管理委員会の取組み
- (7) チーム医療推進部会の取組み

監査委員による講評

- (1) 全体を通じて継続性を重視し、確実に伝承して、ステップアップに繋げていただきたい。医療安全実践として、インシデントレポート提出数、ICの充実、患者の視点に注力することを望む。
- (2) IC記録については、量的から質的評価に進めて行くためにも、診療科間の相互チェックを実施されたい。特にICの際の看護師同席率改善を望む。
- (3) 組織運営上、報告・連絡・相談が大変重要であるので、実施頂きたい。
- (4) 患者安全を平時の事として目指して頂きたい。

以上